

No.72	事業名 栴江橋整備	24年度 予算額	30,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

栴江橋は、昭和8年に架設された老朽橋で損傷が著しく、大規模な補修が必要な状態であり、橋脚数も多いことから奈佐川の通水を著しく阻害している。このため、橋梁架替を行い、防災機能を高め、車両や歩行者交通の安全を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市道福田宮井線（栴江橋）道路整備事業 位置：豊岡市栴江地内

改良延長 L=300m、W=5.5(7.0)m

栴江橋 L=48m（※昭和8年架設）

- ・橋梁詳細設計、土質調査、用地測量業務 一式
- ・用地買収 一式
- ・橋梁架替工事 1橋、道路築造工事 250m

(2) 事業期間

平成23年度～平成26年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

404,500千円（国費6/10）

3 24年度予算

(1) 予算額

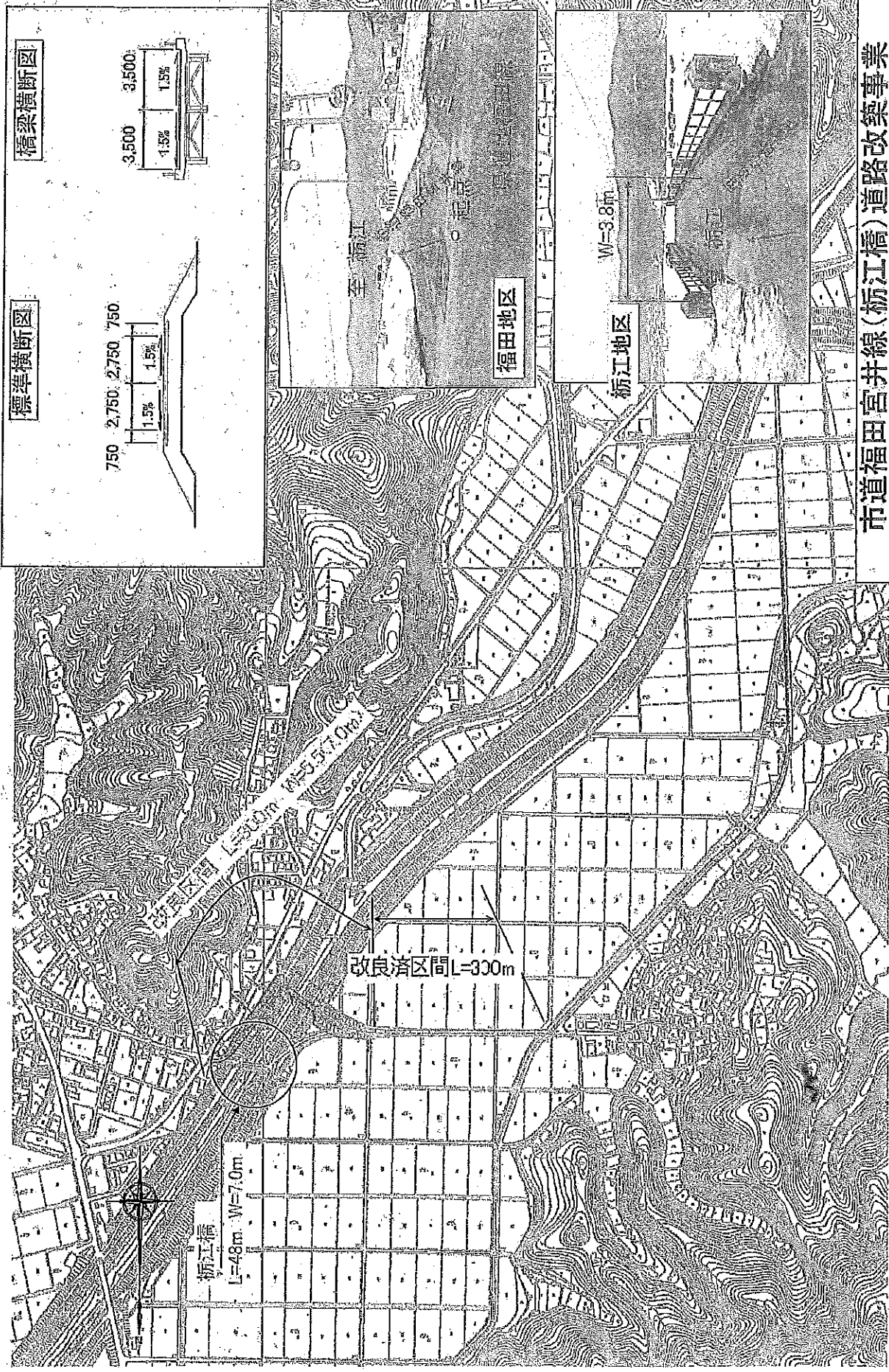
30,000千円

(2) 事業内容

橋梁詳細設計、土質調査、用地測量業務 N=1式

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号3-2-3



市道福田宮井線(栃江橋)道路改築事業

No.73	事業名	生活道路排水路等整備緊急 対策事業の継続	24年度 予算額	30,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

各区が住環境の保全のため維持管理を行っている生活道路（里道）・排水路（水路）等の改修整備を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・豊岡市全域を対象とし、各区からの要望を受け、事業箇所の調整を図る。
- ・生活道路（里道）及び排水路（水路）等の整備を1箇所100万円程度で行う。
- ・生活道路は、舗装、側溝の改修など、生活排水路については、土砂の浚渫、水路の改修などの工事を行う。

(2) 事業期間

平成21年度～平成24年度（1年間事業を延伸）

(3) 事業主体

豊岡市

3 24年度予算

(1) 予算額

30,000千円（ゼロ市債）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

次の事業については、対象から除くものとする。

- ・市道の整備（生活道路を対象とする。）
- ・農用地区域及び森林区域（農林水産課の所管区域）
- ・樹木の剪定、草刈等の維持管理作業

担当課名【建設課】（内線 2421）

施策体系番号 3-2-3

No.74 事業名 河川改良事業	24年度 予算額	12,000 千円	新規 拡大 継続
------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

山田川は、河岸侵食が著しいため、道路肩の崩れや畦畔の崩壊が発生している。また、一部では崩壊が田面まで達している区間もあり、早急に対策を講じなければ、崩壊が拡大し、稲作に支障を来すため、河岸侵食を防止する改良工事を行う。

立石川及び向鶴岡川は、台風等により、河川に多大な土砂が堆積し、河川断面が減少しており、流下能力の低下を招いている。洪水時に越水する危険があるため、堆積土砂の浚渫を行い流下能力を確保する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

山田川河川改良延長 L=85m

・水路工 L=85m

立石川外1路線河川浚渫 L=2,100m 土量 B=8,920 m³

立石川(豊岡) L=1,400m 土量 B=5,700 m³

向鶴岡川(日高) L=700m 土量 B=2,800 m³

(2) 事業期間

平成24年度～平成26年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

50,000 千円

3 24年度予算

(1) 予算額

12,000 千円

(2) 事業内容

河川改修（護岸工）

山田川 L=85m

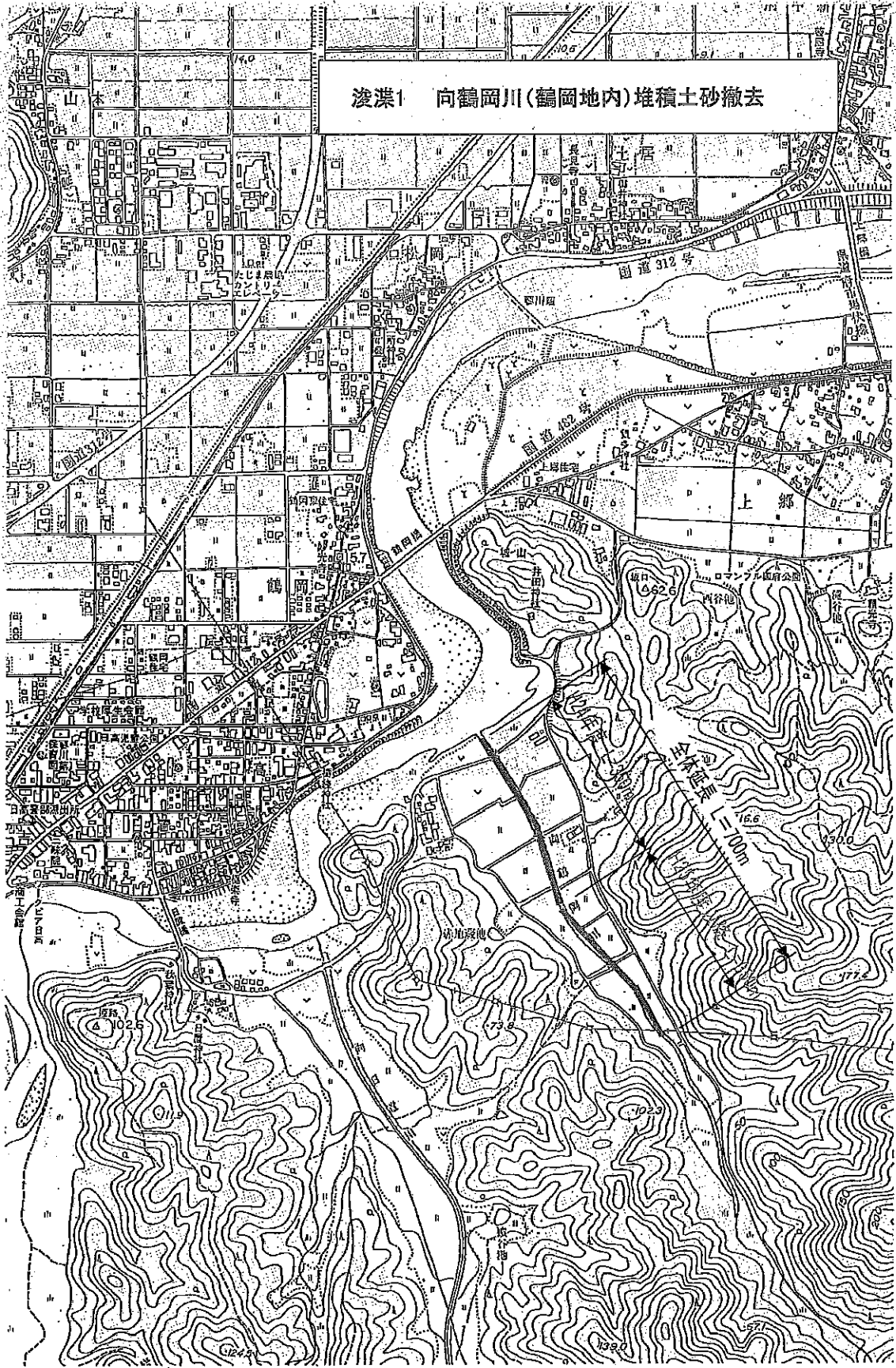
河川浚渫

立石川 L=350m 【新規】

向鶴岡川 L=350m 【新規】

担当課名【建設課】（内線2421）

施策体系番号 1-1-1



No.75 事業名 鉄道交通対策	24年度 予算額	52,115 (27,493) 千円	新規 拡大 継続
------------------	-------------	---------------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

① 山陰本線・播但線高速化補助

山陰本線・播但線の速達性など利便性の向上を図るため、JR西日本が実施する輸送改善事業をする支援する。

② ジオライナー利用促進

JR山陰本線豊岡駅～鳥取駅間を直通運行する臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」の利用促進を図るとともに山陰海岸ジオパークへの関心を高める。

③ KTR市民号

KTRの利用促進と参加者相互の親睦を深める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ① 踏切信号施設、駅部クランク等の地上設備改良に要する経費の一部を沿線自治体が負担する。
- ② 臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」を始めとしたJR山陰本線（豊岡駅～鳥取駅）団体利用者に対して、列車運賃の一部を補助する。
- ③ 市民号参加者に対し、参加費の一部を助成する。

(2) 事業期間

- ① 平成21年度～平成25年度
- ② ③平成24年度

(3) 事業主体

- ① 西日本旅客鉄道株式会社
- ② 豊岡市
- ③ 北近畿タンゴ鉄道株式会社

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

- ① 9.3億円（うち豊岡市 86,827千円）
- ② 鉄道利用運賃の2分の1補助
- ③ 参加者1人あたり1,500円

3 24年度予算

(1) 予算額

- ① 26,795千円
- ② 522千円
- ③ 176千円

(2) 事業内容

- ① 踏切信号施設の改良
- ② JR山陰本線（鳥取駅～豊岡駅）利用区間にかかる実運賃の補助
- ③ 詳細未定

担当課名【都市整備課】（内線 2491）

施策体系番号 3-2-4

No.76 事業名 バス交通対策	24年度 予算額	168,660 千円 (80,537)	新規 拡大 継続
------------------	-------------	---------------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

- 路線バスが運行していない地域において、市民の日常生活に必要な移動手段を確保するため、コミュニティバスを運行する。
- 地域が主体となり住民の移動手段を確保する取り組みを支援する。
- 環境負荷の大きい従来型の路線バスから低公害型バスへの転換を促進する。

2 24年度の事業内容

(1) コミュニティバスの運行（継続）

- 市街地循環バス「コバス」運行 12,602 千円
2 路線：Aルート（八条方面）、Bルート（桜町方面）
- 市営バス「イナカー」運行 53,072 千円
9 路線：気比三原線、赤石線、竹野海岸線、竹野三原線、床瀬線、三方線、八代線、河野辺線、天谷佐々木スクール線

(2) 地域主体の公共交通支援事業「チクタク」の運行（継続） 4,563 千円

3 地域：チクタク奥山、チクタクひばこ（出石町）、チクタク資母（但東町）

(3) 「チクタク」予約システムの導入（新規） 1,300 千円

あらかじめ定めたダイヤとルートに基づき事前予約制で運行している「チクタク」の運行システムにオンデマンドシステムを試験的に導入する。

※オンデマンドシステムとは、利用者の予約状況をパソコンに入力することにより、即時に自動車に搭載してある車載器にデータが送信され、利用者の希望に応じて効率的に配車されるシステム。

(4) ハイブリッドバス購入補助（継続） 9,000 千円

一般の路線バスと比較し価格の高い低公害型バス（ハイブリッドバス）の導入を促進するため、路線バス事業者に対し車両購入費の一部を補助する。
（平成 23 年度に市などの補助を受け、全但バス路線バスに 1 台導入済み）

担当課名【都市整備課】（内線 2494）

施策体系番号 3-2-4

No.77	事業名 公共交通利用促進	24年度 予算額	19,266 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

車社会の進展や少子化などにより利用者が減少し、現在のサービスを維持することが困難となりつつある公共交通を次代に引き継ぐため、公共交通を利用した通勤や「上限 200 円バス」の社会実験を実施し、バスや鉄道の利用を促進する。

2 事業内容

(1) 路線バス活性化実証実験（継続） 12,800 千円

バス利用者の減少がサービス低下を招き、そのことで更に利用者が減少するという従来の「負の連鎖」を断ち切り、増便などによる利便性の向上と大幅な利用者負担の軽減により、利用者が増加し収益が好転するという「正の連鎖」への転換を図り、地域公共交通の持続性を高める可能性を探る社会実験を全但バス神鍋線で行う。

（実証実験期間 平成 23 年 10 月から平成 24 年 9 月まで）

(2) バス停留所整備補助制度の創設（新規） 1,000 千円

降雨降雪など厳しい気象下におけるバス待合環境を改善しバスの利用促進を図るため、地元等がバス停留所の待合施設を整備する場合、費用の 1/2（上限 50 万円）を補助する。

(3) e 通勤バス運行補助及び啓発キャンペーンの実施（継続） 5,466 千円

路線バスでの通勤通学を促進するため、帰宅に利用できるバスを増便する費用の一部を補助する。

また、市内の公共交通を網羅した情報誌「足ナビ」の改訂版を発行するほか、e 通勤街頭キャンペーンを実施し、公共交通の利用を促進する取り組みを行う。

担当課名【都市整備課】（内線 2494）

施策体系番号 3-2-4

No.78	事業名 都市計画基本方針の策定及び用途地域の見直し	24年度 予算額	3,749 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------------------	-------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

都市計画基本方針の全体構想及び地域別構想に基づく、各地区の地区構想（まちづくり計画）を策定する。

また、将来のまちづくりの視点に立ち、良好な地域環境の確保のため、用途地域の見直し及び指定の検討を行い、県と協議し都市計画決定をする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

① 都市計画基本方針の策定

H17～H19 全体構想・地域別構想策定

H20～H22 日高地区、地区構想策定

H23～ 豊岡中心地区、地区構想策定

H24～ 城崎温泉地区、地区構想策定

② 用途地域見直し検討

H21 豊岡・城崎地域見直し及び日高地域指定の調査

H22 豊岡地域見直し及び日高地域指定の検討

H23 豊岡地域見直し、都市計画変更

H24 日高地域指定（県協議）、都市計画変更

(2) 事業期間

平成 17 年度～平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

46,261 千円

3 24 年度予算

(1) 予算額

3,749 千円

(2) 事業内容

① 城崎温泉地区の地区構想策定

② 日高地域用途指定

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

1/2500 地形図作成（日高地域用途図）

担当課名【都市整備課】（内線 2497）

施策体系番号 3-2-1